



【学校教育目標】



夢と目標をもち、主体的に取り組む児童の育成
～かしこく やさしく たくましく～

平成30年度 ご挨拶

寒さの厳しかった冬が終わり、暖かい春の風に学校の周りの桜の花が優しく揺れています。豊松小学校では2年ぶりに入学式を行い、1名の新入生を迎え、全校児童20名で平成30年度がスタートしました。

豊松小学校の校歌は福山市神辺町生まれの有名な作詞家「葛原しげる」さんが作詞されています。葛原しげるさんは、唱歌や童謡（「夕日」や「とんび」等）1200余り、また全国約400校の校歌も作詞されており、その中に我が豊松小学校の校歌も入るのです。葛原しげるさんは学校の先生でもあり、子ども達がいつもニコニコ笑顔でピンピン元気でいてほしいと願い、自らも実践されたので「ニコピン先生」と呼ばれていたそうです。改めて豊松小学校の校歌を見ると、子ども達には「強く正しく元気に伸びてほしい」「自然豊かな豊松で心も美しく楽しく育てほしい」という葛原先生の願いがよく伝わってきます。豊松小学校は小さい学校ではありますが、子ども達が元気で明るく素直であることはどこの学校にも負けません。一学期の始業式では、「一人ひとりがしっかりと夢や目標をもち、その実現に向けて自分から進んで学んだり、考えたりしてほしい。くるしいことがあってもあきらめてはいけない。根気強く努力すればきっといい結果が出る。今年こそ自分のきらり（良いところ）を見つけよう。そして、相手のことを思いやり、楽しく仲良く頑張ろう。」と話しました。

今年度も“小さくても☆きらり☆と光る学校”，そして笑顔で元気な子ども達が通う“ニコニコピンピンな学校”をめざします。

また、豊松小学校のめざす子ども像は、『と』ともだちを大切にする子、『よ』よく考える子、『ま』まちがいをおそれない子、『つ』つよくたくましい子です。

豊松小学校は、少人数・複式の特徴（良さ）を生かし、今年度は主体性・思考力・伝え合う力を育てます。子ども達一人ひとりに視点をあて、丁寧な指導を行い、健やかな心身の成長を学校全体で支え続けます。

保護者の皆様や地域の皆様に信頼され、期待に応える学校づくりに誠心誠意努力してまいりますので、今後とも豊松小学校へのご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願い致します。

神石高原町立豊松小学校 校長 住田 葉子

